

# 介護老人保健施設しおさい

症例概要 利用者：80歳代 女性 要介護1

利用期間：令和5年 7月～令和5年8月まで長期入所利用

病名：高血圧症、甲状腺腫、骨粗鬆症

既往歴：両変形性室関節症・左手根管症症候群、左膝偽痛風、右肋骨骨折

経過：

令和4年1月に長年連れ添った夫と死別し、同月に自宅にて転倒され、右肋骨骨折をし西伊豆健育会病院へ入院。退院後、夫との死別による喪失感や廃用性にて著しく活動性が低下し、機能低下や認知症状が発症。日中はしおさいのデイケアを利用しているが、それ以外は家で1人で過ごしており、メリハリのある生活をご家族として希望しているがうまくいかず令和5年7月より、当施設へ入所となる。当初施設での生活が不安であったが、職員やご利用者との関わりを増やす中で、徐々にご本人らしい生活を取り戻し、輝かしい日々を過ごしていただいている症例である。

## 内 容

令和4年1月、長年連れ添った夫と死別し、同月に自宅にて転倒、右肋骨骨折にて西伊豆健育会病院へ入院。退院後、夫との死別による喪失感や廃用性にて著しく活動性が低下し、機能低下、認知症状も発症。ご家族が日中仕事で不在の為、デイケアの利用日以外は家で1人で過ごしている日々が続いていました。ご家族としては、ご本人の認知症状の進行の防止、メリハリのある生活を続けて欲しいとの希望もあり、当施設へ入所となりました。

入所当初は日中、夜間問わず帰宅願望も強く、その度に説明をさせていただきましたが、不安や症状の軽減が難しく、都度カンファレンスを実施。ご家族にも相談させていただき、ご家族と電話する時間を設けさせていただき様子を見ていきました。

また、カンファレンス内でデイケア利用時には他のご利用者との談話をされたり、読書をされたりして過ごされると穏やかで、昔は畑仕事や草取りをよくしたけど今はしていないと話しており、日課の中に取り入れていくことはできないかと話し合いました。

まずは日中過ごしている時間に本の提供や、ぬり絵の提供などを行い、楽しみの提供を実施しました。また、ご本人の日課の中で施設内にあるお花の水やりを行ったり、近隣へお花を一緒に買いに行き、花の植え替えを実施するなど、ご本人が以前、自宅で行っていた生活を再現することで、施設での生活に慣れていき、帰宅願望も徐々に減っていきました。

リハビリも以前は拒否なども見られましたが、積極的に実施してくれるようになり、外への散歩中、「ここら辺、草が生えているからキレイにしようか」とお話されることがあり、職員と一緒に草取りを実施しました。「久々にこうやって土に触れた気がするよ。懐かしいし、キレイにもなってよかった。ありがとう」と、良い笑顔で言って下さいました。

8月末で無事に在宅へと帰されたご利用者は、現在も当施設のデイケアをご利用いただいております。顔を合わせた際には「あの時はありがとうね。またよろしくお願いしますね」といつも笑顔で話しかけて下さいます。

これからも一人一人のご利用者を知り、寄り添ったケアを実施することで、施設での生活を笑顔で楽しく過ごしていただくよう職員一同努めていきたいと思っております。